

《防止地震火灾的 15 个要点》

为防止地震火灾，除了防止火灾发生的对策，如防止家具等倾倒、推进普及配备安全装置的火源器具之外，还需推动实现火灾的早期觉察和初期扑灭的对策，如安装住宅用火灾警报器、住宅用灭火器、气雾式简易灭火具等，此外，参与地区防灾训练和自主防灾组织等，推动以地区为单位的防火对策也非常重要。在推进这些地震火灾对策时，请参考以下“防止地震火灾的 15 个要点”。

○事前对策

1. 确保住宅具备抗震性能。
2. 对家具等采取防倾倒措施（固定）。
3. 安装感震断路器。
4. 炉具等取暖设备周围要保持整洁，不要放置可燃物。
5. 安装住宅用灭火器等，并确认使用方法。
6. 安装住宅用火灾警报器（最好选用联动型住宅火灾报警器等具有附加功能的设备）
7. 将地震发生后应立即的行动（第 8~10 条）事先张贴在玄关等处，确保避难时能确认。

○地震发生后的立即行动

8. 停电期间要关闭电器开关，并将电源插头从插座上拔下。
9. 确认石油炉或风扇加热器是否有漏油情况。
10. 避难时一定要关闭电闸。

○地震过后的一段时间（电力或燃气恢复、避难返回后）

11. 重新使用燃气设备、电器及石油器具时，要确认设备无损坏，周围无可燃物。
12. 电力恢复通电后，要注意观察电器是否有异常（如冒烟、异味）。

○其他平时应做好的对策

13. 掌握自己所在地区因地震火灾可能造成的影响。
14. 参加消防团或自主防灾组织等。
15. 积极参加地区防灾训练，力争熟悉灾害发生时的应对要领。

《地震火災を防ぐ15のポイント》

地震火災を防ぐためには、家具等の転倒防止や安全装置等を備えた火気器具の普及等を推進するなどの出火防止対策に加え、住宅用火災警報器、住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具などの設置といった火災の早期覚知・初期消火対策、さらには地域の防災訓練や自主防災組織への参加など、地域ぐるみの防火対策を推進することが重要です。これらの地震火災対策を推進するに当たっては、次の「地震火災を防ぐ15のポイント」を参考にしてください。

○事前の対策

1. 住まいの耐震性を確保する
2. 家具等の転倒防止対策（固定）を行う
3. 感震ブレーカーを設置する
4. ストーブ等の暖房機器の周辺は整理整頓し、可燃物を近くに置かない
5. 住宅用消火器等を設置し、使用方法について確認する
6. 住宅用火災警報器（連動型住宅用火災警報器などの付加的な機能を併せ持つ機器）を設置する
7. 地震直後の行動（8～10）について平時から玄関等に表示し、避難時に確認できるようにする

○地震直後の行動

8. 停電中は電化製品のスイッチを切るとともに、電源プラグをコンセントから抜く
9. 石油ストーブやファンヒーターからの油漏れの有無を確認する
10. 避難するときはブレーカーを落とす

○地震からしばらくして（電気やガスの復旧、避難からもどったら）

11. ガス機器、電化製品及び石油器具の使用を再開するときは、機器に破損がないこと、近くに燃えやすいものがないことを確認する
12. 再通電後は、しばらく電化製品に異常（煙、におい）がないか注意を払う

○その他日頃からの対策

13. 自分の地域での地震火災による影響を把握する
14. 消防団や自主防災組織等へ参加する
15. 地域の防災訓練へ参加するなどし、発災時の対応要領の習熟を図る